

令和4年度

事業報告書

公益財団法人福島県保健衛生協会

令和4年度事業報告書

(概況)

健(検)診・検査事業は、令和元年度の受診者数の水準を回復することを主な目標として、地域健診事業を中心に展開してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等の影響により、一部の検診・検査を除いて令和元年度の水準を回復するには至っておらず、目標とした受診者数を達成することはできなかった。一方、前年度の受診者数と比較すると、健診予約制が浸透したことに加え、総合健診と婦人科検診の同時実施が増加したこと、健診の追加日程を提案し、計14市町村が追加健診を実施したこと等により、ほとんどの検診・検査項目が前年度の受診者数を上回る結果となった。

総合健診センター事業は、健康診断事業において、市民検診と職域健診を同時に実施できる日程を編成し、健診予約制を新規に導入したが、新型コロナウイルス感染症拡大による受診控え等が影響し、令和元年度の水準を回復することはできなかった。また、人間ドック事業は、受診勧奨ダイレクトメール(以下、「DM」)を発送することで、受診者数の回復を図ったが、反応率が低かったことや一部事業所が料金補助制度を廃止した影響などにより、令和元年度の受診者数を回復することはできなかった。さらに、予防接種事業は、一部の事業所が新型コロナウイルス感染症の影響により、B型肝炎ワクチン接種事業を次年度へ延期した結果、前年度と比較し、受診者数が減少した。

理化学分析事業は、全ての検査・測定項目の料金見直し等を行い、収入の確保に努めたが、食品検査事業において、検体数が減少したことや事務手数料が高騰したことから、(公社)福島県食品衛生協会との契約を更新しなかったことで、依頼数が大幅に減少した。また、水質検査事業は、競争の激化により入札金額が下落し、価格の調整をつけることが困難となる事業が増加したことから、依頼数が減少した。作業環境測定事業は、マスクフィットテストが令和5年度から義務化されることによる新規事業を展開するための整備を進めた。

1. 各種事業の実施状況

(1) 健(検)診・検査事業

健康診査事業における予約制導入の推進は、市町村への渉外活動を積極的に推進した結果、計17市町村が予約制を導入する結果となった。その中で、電話予約とWeb予約を併用して取り組む市町村が13市町村あり、うち7市町村が前年度と比べて受診者数が増加した。特に、いわき市では、40～50歳代の77%がWeb予約を利用しており、若年層を中心とした受診者の確保に繋がった。また、Web予約の利用を促進させるために、特定健診の受診券や受診勧奨通知にQRコードを掲載し、スマートフォン等から予約サイトへ誘導する取り組みを推進した結果、40～50歳代の利用者を中心に「自分の好きな時間に健診予約ができて便利でうれしい」などの評価を得るなど、若年層を中心に利便性をアピールすることができた。さらに、健診予約制を実施していない市町村に対しては、三密防止対策を含む予約制による待ち時間軽減対策について、追加健診時の試験的導入を提案することで、次年度以降の実施に向けてアピールを行った。

予約制導入と併せて(株)キャンサーズキャン社(以下、「CS社」)による未受診者への勧奨事業に取り組んだ12市町村のうち、10市町村が前年度の受診者数を上回ったことから、CS社の協力による受診勧奨の取り組みは、受診率向上に向けて有効な手段となった。

総合健診運營業務における市町村からの受託数は、積極的な渉外活動を行い、資材準備業務が3市増の計9市町村、結果通知直送業務が1市増の計6市町村、会場受付業務等が5市増の計38市町村となった。中でも、健診会場において受付・問診等に従事する当協会スタッフ数が増えたことで、検査項目の追加受診を勧奨する機会が増加し、各種がん検診の受診者数は、前年度と比較し増加傾向となった。

受診者の個人負担により希望項目を追加受診できる職域カスタマイズ検診の受診者数は、料金徴収を当協会スタッフが行うなど、実施主体の負担を増やさず実施できる体制を整え、1,563件(前年度比132.3%)となった。

地域健(検)診における各種検診の受診者数は、胃がん検診を除くすべてのがん検診が前年度よりも増加した。

一方、コロナ禍前の令和元年度と比較すると、乳がん検診は増加に転じたものの、その他すべての健(検)診において、令和元年度の水準を回復することはできなかった。

地域健(検)診における各種健(検)診件数

年度		令和4	令和3	令和2	令和元
		3年度比			
		2年度比	2年度比		
		元年度比	元年度比	元年度比	
健康診査	市町村国保	57,565件	57,348件	47,908件	67,399件
		100.4%			
		120.2%	119.7%		
		85.4%	85.1%	71.1%	
	被扶養者	7,145件	7,388件	6,350件	9,219件
		96.7%			
		112.5%	116.3%		
		77.5%	80.1%	68.9%	
	後期高齢	27,856件	25,409件	22,013件	31,162件
		109.6%			
		126.5%	115.4%		
		89.4%	81.5%	70.6%	
	その他の健康診査	509件	597件	433件	659件
		85.3%			
		117.6%	137.9%		
		77.2%	90.6%	65.7%	
計	93,075件	90,742件	76,704件	108,439件	
	102.6%				
	121.3%	118.3%			
	85.8%	83.7%	70.7%		
結核・肺がん検診	胸部エックス線検査	94,849件	92,482件	78,976件	109,317件
		102.6%			
		120.1%	117.1%		
		86.8%	84.6%	72.2%	
	喀痰細胞診検査	5,138件	4,928件	4,906件	5,566件
		104.3%			
		104.7%	100.4%		
		92.3%	88.5%	88.1%	
胃がん検診	27,963件	28,945件	23,738件	36,958件	
	96.6%				
	117.8%	121.9%			
	75.7%	78.3%	64.2%		

大腸がん検診		72,974 件	71,567 件	63,622 件	78,588 件
		102.0%			
		114.7%	112.5%		
		92.9%	91.1%	81.0%	
乳がん検診		18,742 件	18,845 件	15,735 件	17,613 件
		99.5%			
		119.1%	119.8%		
		106.4%	107.0%	89.3%	
子宮がん検診	車輦検診	15,944 件	15,942 件	13,849 件	16,308 件
		100.0%			
		115.1%	115.1%		
		97.8%	97.8%	84.9%	
	施設検診	44,805 件	45,276 件	41,631 件	44,534 件
		99.0%			
		107.6%	108.8%		
		100.6%	101.7%	93.5%	
	計	60,749 件	61,218 件	55,480 件	60,842 件
		99.2%			
		109.5%	110.3%		
		99.8%	100.6%	91.2%	
推定食塩摂取量測定		43,970 件	42,910 件	33,087 件	31,406 件
		102.5%			
		132.9%	129.7%		
		140.0%	136.6%	105.4%	
尿中微量アルブミン検査		19,484 件	17,660 件	14,949 件	20,114 件
		110.3%			
		130.3%	118.1%		
		96.9%	87.8%	74.3%	
眼底検査	片眼撮影	2,783 件	2,656 件	3,327 件	5,330 件
		104.8%			
		83.6%	79.8%		
		52.2%	49.8%	62.4%	
	両眼撮影	75,794 件	73,858 件	62,134 件	80,074 件
		102.6%			
		122.0%	118.9%		
		94.7%	92.2%	77.6%	
	計	78,577 件	76,514 件	65,461 件	85,404 件
		102.7%			
		120.0%	116.9%		
		92.0%	89.6%	76.6%	

(2) 総合健診センター

健康診断事業は、予約制の導入により利便性を向上させたことや、市民検診と職域健診を同時に実施できる日程編成を行ったことで、市民検診及び協会けんぽ生活習慣病予防健診の受診者数が前年度と比較して増加したが、令和元年度の水準を回復することはできなかった。

二次精検事業は、前年度と比較して精検受診者数が減少した。一次検診受診者に継続受診者が多く、経過観察となった受診者が多かったものと推測される。

人間ドック事業は、過去3年間に連続して受診歴がない3,475人を対象にDMを発送し受診者数の増加を図ったが、DM反応率は2.9%に留まった。これは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に加え、会社費用負担で過去に受診している方からの反応が低調だったことが原因と推測される。また、一部の事業所において、料金補助制度を廃止したこと等により受診者数は減少し、令和元年度の水準を回復することはできなかった。

予防接種事業は、福島県立医科大学保健科学部のB型肝炎ワクチンの接種依頼が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を次年度に延期した影響などにより、実施数が前年度と比較して減少した。一方、B型肝炎ワクチン接種事業は、福島県警等からの新規依頼があり、ここ数年依頼数が増加傾向にあることから、令和元年度との比較では、増加する結果となった。

福島市のコロナワクチン接種事業は、午後の時間帯を中心として、可能な限り接種希望者の受入れに努めたが、接種者数が減少傾向にあることやオミクロン株対応2価ワクチンの接種回数に制限が設けられたことなどにより、接種者数は大きく減少した。

総合健診センターにおける各種事業件数

年度	令和4	令和3	令和2	令和元
	3年度比			
	2年度比	2年度比		
	元年度比	元年度比	元年度比	
健康診断	5,989件	5,879件	6,328件	6,264件
	101.9%			
	94.6%	92.9%		
	95.6%	93.9%	101.0%	
二次精検	710件	811件	865件	771件
	87.5%			
	82.1%	93.8%		
	92.1%	105.2%	112.2%	
人間ドック	2,935件	2,930件	3,077件	3,207件
	100.2%			
	95.4%	95.2%		
	91.5%	91.4%	95.9%	
予防接種等	2,591件	2,854件	2,020件	2,352件
	90.8%			
	128.3%	141.3%		
	110.2%	121.3%	85.9%	
コロナワクチン予防接種	5,369件	17,395件	—	—
	30.9%			
	—			
	—			
計	17,594件	29,869件	12,290件	12,594件
	58.9%			
	143.2%	243.0%		
	139.7%	237.2%	97.6%	

(3) 理化学分析事業

すべての検査・測定項目の料金の見直しを行い、収入の確保に努めたが、一部の事業を除いて、前年度と比較し、実施件数は減少した。

水質検査事業は、8月の大雨による水道関連施設が被災したことで、臨時検査依頼があり、迅速に緊急検査を行った。一方、競争の激化により入札金額が下落し、価格調整が困難となる事業が増加し、(公社)福島県浄化槽協会の入札会に参加しなくなったことから、実施件数が大きく減少した。

大気測定事業は、公共施設等の新築・改築着工件数の減少に伴い、室内空気環境測定の依頼数が減少し、実施件数は減少となった。

食品検査事業は、検体数の減少や事務手数料の高騰などにより、(公社)福島県食品衛生協会との委託契約を更新しなかったことから、実施件数は減少した。

環境衛生事業は、富岡町の河川水質調査を再受託し、郡山市水道局の汚泥分析業務を新規受託したが、当協会の原価を下回る価格を提示する業者の参入により、実施件数は減少した。

環境調査事業の実施件数は、ここ数年増減を繰り返しており、令和元年度からは、横ばい状態である。

作業環境測定事業は、令和5年度からマスクフィットテストが義務化されることによる新規事業を展開するための整備を行いながら、対象となる事業所への勧奨を行った。その結果、義務化前に県北地区の事業所から依頼を受けて実施するなど、作業環境測定の実施件数は年々増加傾向にある。

理化学分析における各種事業件数

年度		令和4	令和3	令和2	令和元
		3年度比			
		2年度比	2年度比		
		元年度比	元年度比	元年度比	
水質検査		4,115件	7,714件	7,853件	7,860件
		53.3%			
		52.4%	98.2%		
大気測定		311件	322件	334件	429件
		96.6%			
		93.1%	96.4%		
食品検査		27件	6,983件	7,381件	7,832件
		0.4%			
		0.4%	94.6%		
環境調査 (放射能測定等)		3,223件	3,013件	2,977件	3,320件
		107.0%			
		108.3%	101.2%		
環境衛生	簡易専用水道 施設検査	1,304件	1,090件	1,121件	1,173件
		119.6%			
		116.3%	97.2%		
その他の検査		2,242件	2,651件	2,728件	3,259件
		84.6%			
		82.2%	97.2%	95.6%	
		68.8%	81.3%	83.7%	

		3,546 件	3,741 件	3,849 件	4,432 件
	計	94.8%			
		92.1%	97.2%		
		80.0%	84.4%	86.8%	
	作業環境測定	239 件	210 件	159 件	170 件
		113.8%			
		150.3%	132.1%		
		140.6%	123.5%	93.5%	
	合計	11,461 件	21,983 件	22,553 件	24,043 件
		52.1%			
		50.8%	97.5%		
		47.7%	91.4%	93.8%	

(4) 建物等のあり方に関する検討事業

建物等のあり方に関する検討委員会は計 10 回開催し、当協会が所有する建物等の今後のあり方に関する基本構想を策定し、3 月理事会において承認され、監督官庁へ提出した。

また、長年の懸案事項であった須賀川市宮の杜用地について、須賀川市との協議を再開し、情報を共有することができた。さらに、一級建築士から提供される専門的知識を活用しながら、既存の建物等の調査を行い、緊急に対応が必要な改修等を行った。

(5) 新健診システムの導入事業

新健診システムは、各種マスタの構築や契約情報のルール化、各種システムとの連携設計などを行った。

健診データ収集システムは、各種検査ブースで使用するタブレット画面構成やデータの入出力の調整を行った。

健診予約システムは、Web による問診、結果配信、並びにスマホアプリの要件を定義など、機能拡張に向けた調整を行った。

インフラ整備は、データセンターや協会内部での連携を含むサーバーとネットワークの基本設計を行った。

(6) 普及啓発事業

呼吸器疾患の普及啓発活動は、福島県医師会「健康づくりフェスティバル」や福島県立医科大学「いきいき健康づくりフォーラム」等のイベント開催時に、結核や肺がんの啓発パンフレットを配布し、知識の普及に努めた。

複十字シール運動は、11 月に事業所、医療機関、社会福祉法人、OB 会等、県内 382 団体へ複十字シールを送付することで、募金運動への協力を依頼した。また、県医師会や福島医大が主催する健康づくりイベントにおいて、募金運動を行った。

当協会と共同し、福島県健康を守る婦人連盟が行う健康普及事業は、検診受診勧奨事業「乳がん検診・子宮がん検診 GOGO キャンペーン」チラシ 108,000 枚を作成し配布した結果、1,918 名から応募があり合計 140 名の方に景品を配布した。

(7) がん基金事業

9 月のがん征圧月間に合わせ、がんに関する正しい知識の普及啓発やがん検診の重要性や精密検査の大切さについて、また 10 月には大腸がん検診受診の重要性について新聞広報を活用した啓発活動を行った。

(8) 保健衛生褒賞基金事業

① 岩永賞

該当者なし

- ② 楠賞
該当者なし

2. 実績内訳

令和4年度の主な実績は以下のとおり。

① 健(検)診・検査事業

	令和4年度実績	令和3年度実績	増減
(1) 結核検診			
① 学校保健	21,673人	22,280人	△607人
② 地域検診	72,463人	69,898人	2,565人
③ 労働衛生			
◇ 直接撮影・デジタル	18,794人	18,501人	293人
④ 精密検診			
◇ 精密検診	0人	0人	0人
(2) 胃がん検診			
① 地域検診	27,962人	28,950人	△988人
② 労働衛生(協会けんぽ含む)	23,310人	23,426人	△116人
(3) 子宮がん検診			
① 子宮がん車輻検診			
◇ 地域検診	15,944人	15,942人	2人
◇ 労働衛生	2,919人	2,865人	54人
② 子宮がん施設検診			
◇ 地域検診	44,805人	45,276人	△471人
◇ 労働衛生	2,042人	1,958人	84人
③ 子宮体がん施設検診	36人	34人	2人
④ 子宮がん施設精密検診			
◇ 組織診検査	530人	496人	34人
◇ 細胞診検査	1,375人	1,232人	143人
(4) 肺がん検診			
① 地域検診			
◇ 肺がん検診(喀痰)	5,138人	4,978人	160人
◇ 肺がん検診(肺野部)(協会けんぽ除く)	72,463人	69,898人	2,565人
② 労働衛生			
◇ 肺がん検診(喀痰)	1,235人	1,168人	67人
◇ 肺がん検診(肺野部)	48,726人	49,476人	△750人
(5) 乳がん検診			
① 地域検診(いわき市除く)	17,160人	18,394人	△1,234人
② 労働衛生	3,157人	2,920人	237人
(6) 大腸がん検診			
① 地域検診	72,974人	71,567人	1,407人
② 労働衛生(協会けんぽ含む)	32,608人	31,883人	725人
(7) 特定健康診査			
① 地域検診	64,710人	64,786人	△76人
② 特定保健指導	1,589人	1,933人	△344人

(8) 骨粗鬆症検診			
① 地域検診	10,785 人	9,900 人	885 人
② 労働衛生	388 人	689 人	△301 人
(9) 臨床検査			
① 学校保健			
◇ 寄生虫検査	1,178 件	1,373 件	△195 件
◇ 尿検査	122,350 件	125,124 件	△2,774 件
◇ 心電図検査	64,516 件	67,129 件	△2,613 件
◇ 血液検査	29,405 件	26,112 件	3,293 件
◇ その他の検査	19,526 件	18,315 件	1,211 件
② 地域検診			
◇ 血液検査	173,171 件	150,311 件	22,860 件
◇ PSA 検査	25,313 件	23,911 件	1,402 件
◇ 健康診査	24,495 件	26,010 件	△1,515 件
◇ 県民健康調査(健康診査)	21,626 件	26,611 件	△4,985 件
◇ その他の検査	135,701 件	133,227 件	2,474 件
③ 労働衛生			
◇ 心電図検査	65,152 件	65,664 件	△512 件
◇ 眼底検査	40,313 件	39,628 件	685 件
◇ 尿検査	12,996 件	14,595 件	△1,599 件
◇ 血液検査	219,972 件	223,564 件	△3,592 件
◇ 健康診断	67,786 件	76,681 件	△8,895 件
◇ 血圧測定	10,995 件	12,818 件	△1,823 件
◇ 聴力検査	58,827 件	57,647 件	1,180 件
◇ その他の検査	155,225 件	165,254 件	△10,029 件
④ 特殊検診			
◇ 有機溶剤健診	6,524 件	6,694 件	△170 件
◇ 鉛健康診断	352 件	394 件	△42 件
◇ じん肺健康診断	418 件	382 件	36 件
◇ 騒音健康診断	434 件	461 件	△27 件
◇ 情報機器作業健康診断	3,068 件	3,339 件	△271 件
◇ その他の検査	7,164 件	7,120 件	44 件
⑤ 保菌検査	11,764 件	12,030 件	△266 件
⑥ 医療機関からの受託検査			
◇ 一般臨床検査	3 件	15 件	△12 件
◇ 病理組織検査	1,684 件	1,609 件	75 件
◇ 細胞診検査	23,251 件	23,738 件	△487 件
⑦ 母子保健			
◇ 先天性代謝異常検査	10,336 件	12,311 件	△1,975 件
(10) 口腔健康診査			
① 地域検診	560 件	670 件	△110 件
② 労働衛生	20 件	20 件	0 件
(11) 健康づくり事業			
① 健康づくり事業	60 件	51 件	9 件
② 総合健康管理受託事業	21 件	20 件	1 件

② 総合健診センター事業

	令和4年度実績(件)	令和3年度実績(件)	増減(件)
(1) 健康診断	5,989	5,879	110
(2) 二次精検	710	811	△101
(3) 人間ドック	2,935	2,930	5
(4) 予防接種等	2,591	2,854	△263
(5) 予防接種(新型コロナワクチン接種)	5,369	17,395	△12,026

③ 理化学分析事業

	令和4年度実績(件)	令和3年度実績(件)	増減(件)	
(1)水質検査	4,115	7,714	△3,599	
(2)大気測定	311	322	△11	
(3)食品検査	27	6,983	△6,956	
(4)環境調査(放射能測定等)	3,223	3,013	210	
(5)環境衛生	① 簡易専用水道施設検査	1,055	1,090	△35
	② その他の検査	1,950	2,651	△701
	計	3,005	3,741	△736
(6)作業環境測定	239	210	29	

④ 複十字シール募金

運動期間 令和4年8月1日～令和4年12月31日

募金実績額 1,811,869円（募金目標額 2,600,000円）

3. 胃がん検診に係る損害賠償請求訴訟

過去に総合健診センターで胃がん検診を受けた受診者から令和3年12月28日に提起された検診結果等に関する損害賠償請求については、医療事故専門の弁護士に委任するなどして対応した結果、令和5年3月15日をもって和解により終結した。

4. 行政庁に対する届出のうち重要なもの

(1) 役員の選任及び選定に関する変更の届出

- ・令和4年5月23日、定款第11条第1項の規定により評議員選定委員会において、三浦爾氏の後任として、新たに伊藤賢一氏が評議員に選任された。
- ・令和4年6月15日、定款第14条第2項(1)の規定により評議員会において、小野和彦氏の後任として中村修二氏、馬場義文氏の後任として八巻秀一氏が理事に選任された。また、鈴木順造氏、鈴木仁氏、藤森敬也氏、伊藤浩氏、坪井永保氏、笹木めぐみ氏、小松信之氏、安田清敏氏の8名が理事として、阿部雄二郎氏、鈴木一哉氏の2名が監事として再任された。
- ・令和4年6月15日、定款第24条第2項の規定により、鈴木順造氏が会長として、中村修二氏が副会長として選定された。
- ・令和5年3月23日、株式会社東邦銀行の人事異動に伴い、菊地広幸氏が評議員を辞任した。
- ・令和5年3月31日、福島県の人事異動に伴い、笹木めぐみ氏が理事を辞任した。

(2) 定期書類の提出

- ・令和4年6月30日、定款第8条第2項の規定に基づく令和3年度事業報告及び決算書類
- ・令和5年3月29日、定款第7条第3項の規定に基づく令和5年度事業計画書及び収支予算書等

5. 監査の状況

- (1)令和4年10月6日に福島県監査委員事務局による令和4年度財政支援団体等監査の職員調査が行われた後、令和5年2月3日に委員監査が行われ、「指摘事項等はなく、概ね適正に執行されたものとして認める」と通知があった
- (2)令和4年11月17日に福島県による運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査が行われ、「遊休財産が保有上限額を超過しているため、改善計画に基づき適切に対応すること。」との指摘事項の通知があった。
- (3)令和5年5月16日、定款第8条の規定により監事会を開催した。

6. 各種委員会その他重要な組織活動

検診事業精度管理委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ Web により開催した。また、建物等のあり方に関する検討委員会を開催した。

名称	開催回数	主な内容
(1)検診事業 精度管理委員会	6回	9/3 肺がん検診精度管理委員会 9/27 消化器検診精度管理委員会 10/12 乳がん検診精度管理委員会 10/24 子宮がん検診精度管理委員会 11/15 学校保健検診精度管理委員会 11/22 循環器検診精度管理委員会
(2)倫理審査委員会	5回	5/9 子宮内膜細胞診における擬陽性判定の検討 5/30 子宮頸がん検診要精検者の HPV 検査結果からみる後方視的検証、子宮体部細胞診が契機となり発見された漿液性卵管上皮内癌の1例 7/27 全国労働衛生団体連合会への胃 X 線画像の提供について 8/29 住民健診における心房細動有病率と治療の現状 人間ドックにおける MAFLD と NAFLD の比較 液状化検体処理 (LBC) 法って何？ 失敗から学ぶ MMG ポジショニングと心得 9/12 子宮体部脱分化癌の一例の学会発表について 細胞診標本内の画像提供
(3)建物等のあり方に関する 検討委員会	10回	8/9 今後の委員会の検討スケジュール、コンサル業務委託について 8/29 相双地区センター検査棟の解体計画について 9/21 相双地区センター検査棟ほか解体工事について 10/12 耐震性を評価する調査の実施について 11/8 将来の拠点・建物(規模や機能等)について 12/6 相双地区センター検査棟他解体工事の進捗について 1/11 宮ノ杜用地について 1/24 建物等のあり方に関する基本構想の骨子について 2/21 建物等のあり方に関する基本構想について 3/28 今後の検討の進め方について

7. 理事会の決議のうち特に重要な事項の経過

特になし

8. その他理事会から報告を求められた事項

特になし